

日本洋酒輸入協会理事長コメント

このたびの日・EU間のEPA大枠合意は、当協会会員一同が長年にわたり要望してきたことであり、たいへん喜ばしい。ワインの関税の即時撤廃の実現は、歓迎すべき画期的な合意といえる。

協定の発効後、EU産ワインが日本市場で一層消費拡大するのみならず、他国とのEPAと合わせて、2019年には約90%の輸入ワインの関税が撤廃されることで、まだまだ日本のワイン消費の伸びが期待される。

同時に、今回の大枠合意が米国を除く11か国でのTPP発効の交渉進展にも必ずや好影響を与えるものと考え、一日も早い合意実現を願っている。また他国ワインの関税撤廃の流れが強まることも合わせて期待したい。